

紋別市における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 2年目）

紋別市地域公共交通総合連携計画の目標

- ～継続可能な地域公共交通体系の構築に向けて～
- ・便利にする～日常生活の足としての利便性、快適性の向上
 - ・足を守る～交通弱者等、地域住民の移動手段の維持・確保
 - ・活性化する～中心市街地のにぎわい・観光交流の創出

22年度総合事業計画の概要

主要事業

- ・循環バス実証運行事業
- ・バス車両ラッピング事業
- ・バス車両塗装事業
- ・バス待ち環境改善事業
- ・実証運行等調査分析

1) 紋別市循環バス実証運行事業

運行期間 : H22.4~ H23.3
 運行ルート : 右図のとおり
 運行本数 : 平日15便、土休日11便 (H22.7に改正)
 運賃 : 200円 (循環線乗継300円・乗継券発行)
 運行事業者 : 北紋バ (株)

2) 循環バス車両ラッピング事業 (愛称 キャラクター)

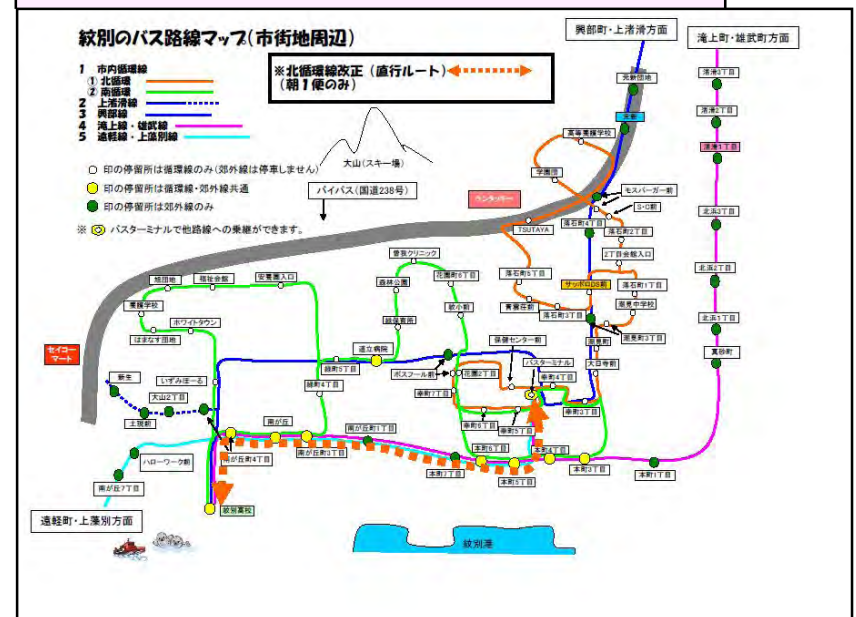


愛称：KURURI

紋別市地域公共交通活性化協議会開催状況

平成 22年 5月 31日 第 10回協議会を開催
 主な協議事項 : H21事業経過報告及び決算報告、平成 22年度事業計画 (案) 及び予算 (案)、循環バス実証運行、愛称等募集 他
 平成 22年 10月 13日 第11回協議会を開催
 主な協議事項 : 循環バス実証運行経過、愛称等の最終審議、利用者把握調査・アンケート調査 他

循環バス運行ルート 北 — 南



22年度事業の実施状況

1) 循環バス実証運行におけるプロセス、創意工夫

昨年度実証運行結果から改善策の検討 (実態に合った利用者ニーズの把握、運行収支改善など)

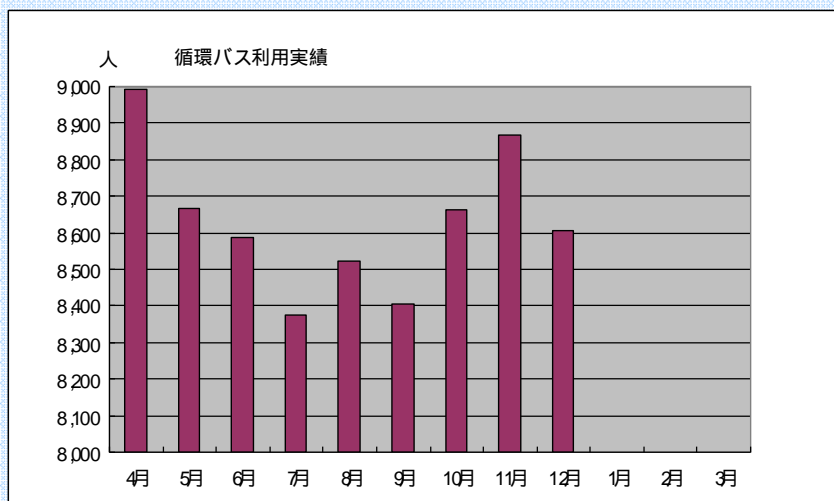
親しみのある循環バス (愛称・ワンポイントキャラクターの公募、ラッピング)

利用者によりわかりやすく (循環バス車両の色の統一化・既存中型車両の塗装)

新規利用者の発掘 (高校生へのPR、ルート・料金の改善)

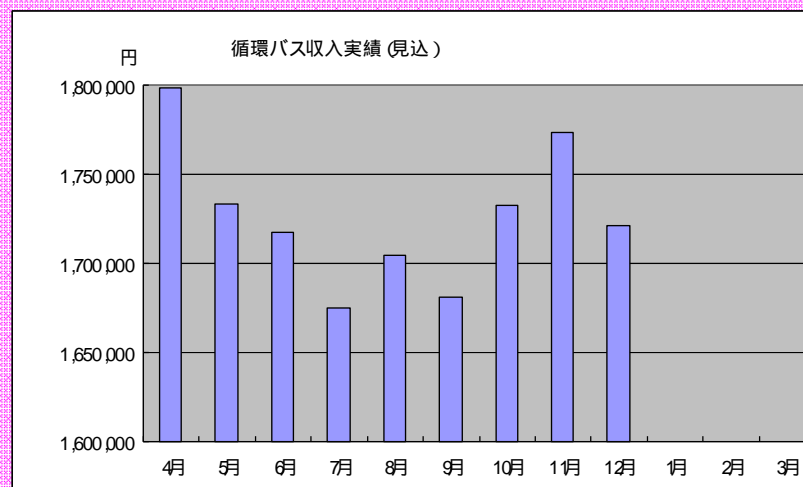
バスに対する住民の興味・関心 (乗ろうよバスの会、循環バスストラップの作成～北紋バス)

2) 利用実績



利用者実績は月額収入額から積算

3) 収入実績



4)事業実施効果

収支改善 実態にあった利用者ニーズの把握 運行ルート改善 他

バス利用環境改善 待合施設の設置 改修

バスへの興味 関心 愛称 キャラクターの公募 ラッピング、バスの会、バスの日イベント 他

新規利用者発掘 高校生への情報発信、直行便ルートの設定、定期券の割引 他

わかりやすさ 車両塗装 停留所による色分け

自己評価のポイント

・地域住民の意見を基に路線の検討を行った結果、運行収支が当初計画より上回る結果となった。

・系統ごとにバス車両のラッピングや停留所の色分け、バス待合施設の設置 改修を実施したことにより、バスへの興味 関心 親しみが高まり、利便性が向上した。

・人口の減少に伴う利用者の減少が予測出来ることから、本格運行に向けた更なる対策が必要。

二次評価のポイント

・自己評価のとおり。

・来年度の本格運行する循環バスについては、ニーズ調査を行い、更なる利用者増に向けた取り組みに期待する。

5)今後の課題

1年間を通じた安定収支

新規利用者の発掘

人口減等による利用者減少

時代の変化に対応した利用者ニーズの把握と改善

車両の更新